

厚生労働大臣 殿

京都大学医学部附属病院
病院長 内山

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	133人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	338人	289人	614.4人	看護業務補助者	59人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	12人	20.0人	理学療法士	12人	臨床検査技師	73人
薬剤師	56人	3人	58.2人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	7人	その他	0人
助産師	34人	0人	24.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	829人	32人	853.3人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	7人	0人	7.0人	栄養士	1人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	1人	2人	2.5人	歯科技工士	3人	事務職員	312人
管理栄養士	8人	2人	9.5人	診療放射線技師	49人	その他の職員	200人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	958.1人	14人	972.1人
1日当たり平均外来患者数	2,371.3人	85.6人	2,456.9人
1日当たり平均調剤数	1,687剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術（内視鏡下を含む）	有・無	人
・造血管腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・ ³¹ P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗癌剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験 (CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術 (CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血管細胞 (CD34陽性細胞に限る。) による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
・副甲状腺内活性化型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法	有・無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
・自己腫瘍（組織）を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
・自己腫瘍（組織）及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・無	1人
・顎顔面補綴	有・無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
・歯周組織再生誘導法	有・無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核手術	有・無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH）	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
強度変調放射線治療	有・無	54人
胎児心超音波検査	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器主要手術	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻空手術	有・無	人
インプラント義歯	有・無	3人
顎顔面補綴	有・無	0人
人工中耳	有・無	人
歯周組織再生誘導法	有・無	人
抗がん剤感受性試験	有・無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
生体部分肺移植術	有・無	0人
活性化血小板の検出	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
眼底三次元画像解析	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	78人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	40人
・多発性硬化症	43人	・ウェゲナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	59人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	71人
・全身性エリテマトーデス	324人	・多系統萎縮症	15人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	25人	・膿疱性乾癬	7人
・サルコイドーシス	87人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	22人	・原発性胆汁性肝硬変	59人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	218人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	34人	・特発性大腿骨頭壊死症	23人
・結節性動脈周囲炎	46人	・混合性結合組織病	28人
・潰瘍性大腸炎	121人	・原発性免疫不全症候群	7人
・大動脈炎症候群	58人	・特発性間質性肺炎	28人
・ピュルガー病	13人	・網膜色素変性症	98人
・天疱瘡	10人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	27人	・原発性肺高血圧症	11人
・クローン病	68人	・神経繊維腫症	19人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	19人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	36人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	7人
・パーキンソン病関連疾患	95人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	4人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	30人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3. 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断部門：毎日、臨床検査部門：1回/週	
剖 検 の 状 況	剖検症例数 22例	剖検率 7.4%

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
ヒトABO血液型不適合肝移植における生着機序解明と液性拒絶克のための戦略	江川 裕人	臓器移植医療部	6,900,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)継続
多臓器不全発生に関与する脂質メディエーターと脳障害発症メカニズムの解明	小池 薫	総合診療科	3,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
CCN1の心臓における機能解析と新しい虚血性心疾患治療法の開発	田中 誠	地域ネットワーク医療部	2,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
手術後患者の生活の質改善因子の検討	白神 豪太郎	デイサージャリー診療部	900,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
3テスラ超高磁場MRIを用いた肝細胞癌の検出能の最適化及び分化度推定法の開発	前谷 洋爾	放射線診断科	2,000,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
超高磁場核磁気共鳴画像装置による循環器疾患解明のための画像化に関する研究	多田村 栄二	放射線診断科	2,900,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
フルオロチミジンを用いた悪性腫瘍に対する放射線・化学療法後のPET診断	中本 裕士	放射線診断科	1,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
がんの超早期診断・治療のための高感度分子イメージングプローブの開発	中本 裕士	放射線診断科	1,000,000	補 委	萌芽の先端医療技術推進研究事業継続
MR装置の基本性能向上①基本画質の向上②基本機能の向上	富樫 かおり	放射線診断科	2,970,000	補 委	東芝メディカルシステムズ(株)
マルチスライスCT検査における患者負担の軽減と臨床応用	富樫 かおり	放射線診断科	1,000,000	補 委	東芝メディカルシステムズ(株)
ペプチドトランスポートソームの実体解明と発現・局在調節における生理的意義	乾 賢一	薬剤部	4,700,000	補 委	文部科学省特定領域研究新規
抗リン酸化ペプチド抗体を用いた高感度カルシニューリン活性測定法の開発と臨床応用	乾 賢一	薬剤部	2,400,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規
移植免疫ネットワークの分子機構に基づく個別化免疫抑制療法の確立	乾 賢一	薬剤部	6,800,000	補 委	文部科学省基盤研究(A)(2)継続
がん専門薬剤師研修事業	乾 賢一	薬剤部	8,536,000	補 委	(社)日本病院薬剤師会
薬物輸送蛋白(トランスポータ)の機能制御機構に関する研究	乾 賢一	薬剤部	2,200,000	補 委	大日本住友製薬(株)
ゲノム情報を活用した薬物トランスポート発現量予測システムの構築とテーラーメイド薬物療法への応用	乾 賢一	薬剤部	39,502,000	補 委	厚生労働省科学研究費補助金

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
臓器移植患者の小腸及び肝組織を用いた遺伝子機能解析に基づくテラーメイド免疫抑制療法の確立に関する研究	乾 賢一	薬剤部	34,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
前処理装置を搭載した高感度遺伝子多型検出用バイオチップシステムの開発	乾 賢一	薬剤部	10,500,000	補 委 NEDO技術開発機構
有機アニオントランスポータの細胞・臓器特異的選別輸送機構の解明	桂 敏也	薬剤部	1,600,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
複数の免疫抑制薬併用による効果・副作用の増強と減弱に関する分子機構解明	増田 智先	薬剤部	8,500,000	補 委 文部科学省若手研究(A)新規
腎疾患増悪過程における有機イオントランスポータの発現変動機構に関する研究	本橋 秀之	薬剤部	1,300,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
骨髄間葉細胞含有血管茎いりチューブを用いた末梢神経再生	柿木 良介	リハビリテーション部	1,500,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
横紋筋肉腫におけるメチル化DNA領域網羅的解析による発癌機構の究明	三沢 あき子	外来化学療法部	2,500,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
重症インスリン依存状態糖尿病に対する免疫抑制剤を併用した心停止ドナー膵島移植の検討	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	60,000,000	補 委 株式会社京都レメディス
臓器移植における新たな免疫抑制療法の開発に関する研究	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	2,727,200	補 委 アステラス製薬㈱
肝と周辺臓器の肝再生調節に関する研究ー移植過小グラフトの至適門脈血行動態の解明ー	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	3,200,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)新規
血液細胞ー血管内皮相互反応制御による網膜絡膜疾患の病態解明と新治療法の開発	宮本 和明	眼科	7,200,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)新規
網膜構成細胞と骨髄細胞の細胞融合現象と細胞機能変化	大谷 篤史	眼科	1,400,000	補 委 文部科学省萌芽研究継続
骨髄血管前駆細胞を使った網膜血管再生治療及び網膜神経保護療法の開発	大谷 篤史	眼科	6,500,000	補 委 文部科学省若手研究(A)継続
温度感受性リポソーム法による糖尿病モデルラットにおける糖尿病脈絡膜症の観察	田村 寛	眼科	1,800,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
骨髄間質細胞移植による緑内障性視神経障害治療の試み	田邊 晶代	眼科	1,500,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
糖尿病黄斑浮腫におけるエリスロポエチンの役割の解明と新治療の開発	渡部 大介	眼科	2,100,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
Full Field型光干渉層画像化法による網膜神経節細胞可視化の検証	板谷 正紀	眼科	1,800,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
血管新生緑内障におけるEph/ephrin系の関与とその治療応用の検討	尾島 知成	眼科	1,800,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
3D OCT-1000を用いた健常者データ収集とソフトウェア開発	吉村 長久	眼科	4,070,000	補 委	株式会社トプコン
硝子体と高分子の相互作用に関する研究	吉村 長久	眼科	0	補 委	むさしドリーム眼科
緑内障の病態解明と新しい薬物療法の開発	吉村 長久	眼科	8,500,000	補 委	参天製薬株式会社
(1)黄斑疾患の研究 (2)FD-OCTの研究評価	吉村 長久	眼科	5,500,000	補 委	株式会社トプコン
高深さ分解能OCTの研究評価	吉村 長久	眼科	12,543,300	補 委	トプコン
骨髄・末梢血幹細胞の賦活化による網膜神経変性疾患の 予防・治療法の開発	吉村 長久	眼科	360,000	補 委	千寿製薬株式会社
Er-YAGレーザーの眼科応用についての研究	板谷 正紀	眼科	420,000	補 委	HOYA株式会社
表皮、真皮、皮下組織の同時培養、同時再建—培養皮弁作製	森本 尚樹	形成外科	900,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
皮膚の保存に関する研究	川添 剛	形成外科	1,700,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
ケロイド幹細胞:分離・同定とその発生病理学的意義	鈴木 茂彦	形成外科	4,000,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
自家移植神経側々吻合を用いた神経損傷後の支配筋萎縮防止法の開発 代表者変更	鈴木 茂彦	形成外科	900,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
体表臓器の研究開発	鈴木 茂彦	形成外科	54,999,000	補 委	国立大学法人東京大学
人工真皮に替わる細胞増殖因子徐放性基材の開発及びこれを用いた培養皮膚作製	鈴木 茂彦	形成外科	2,020,000	補 委	(独)科学技術振興機構
腫瘍性疾患および炎症性疾患における鉄のホメオスタシス機構の果たす意義	川端 浩	血液・腫瘍内科	1,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続

注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
ATLに対する有効な造血幹細胞移植/細胞・免疫療法の開発	内山 卓	血液・腫瘍内科	11,200,000	補 委	文部科学省特定領域研究継続
担癌個体および化学療法後の造血回復期における骨髄系免疫抑制細胞の解析	門脇 則光	血液・腫瘍内科	1,600,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
新規免疫細胞治療法の開発についての研究	門脇 則光	血液・腫瘍内科	180,000	補 委	SBI免疫セラピー・プランニング(株)
WT1ペプチドとゾレドロン酸を添加した樹状細胞による急性骨髄性白血病に対する細胞免疫療法(臨床第I相/前期第II相試験)	石川 隆之	血液・腫瘍内科	6,500,000	補 委	株式会社メディネット
メタボリックシンドローム発症における胎生期栄養環境の関与の研究と予防戦略の開発	伊東 宏晃	産科婦人科	4,955,148	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
自己免疫の活性化を利用した新しい婦人科癌免疫療法の確立と臨床応用(H19.4.1代表者変更旧研究代表者藤井信吾)	高倉 賢二	産科婦人科	26,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(A)新規
内分泌・免疫系ネットワークを介した母体と胚の相互応答による胚着床誘導機構の解明	藤原 浩	産科婦人科	8,800,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
婦人科癌患者での制御性T細胞の発現・機能の解析—その操作による免疫療法に向けて	八木 治彦	産科婦人科	1,700,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
婦人科悪性腫瘍に対する樹状細胞免疫療法の効果増強因子を同定する臨床的・基礎的研究9/30内定	万代 昌紀	産科婦人科	1,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
組織特異的幹細胞の移植による胎盤の形成ならびに機能分化機構の解析 代表者変更	鈴木 彩子	産科婦人科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
抗悪性腫瘍剤による卵巣障害とその分子生物学的解析	樋口 壽宏	産科婦人科	110,000	補 委	森永乳業株式会社
胎生期低栄養による成長後の代謝異常発生機序の解明とその予防戦略の開発	由良 茂夫	産科婦人科	8,268,000	補 委	(独)科学技術振興機構
睡眠時無呼吸発生時のみ下顎前突させる人工筋肉駆動型口腔内装置の開発	吉田 和也	歯科口腔外科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
歯牙再生に関する分子生物学的研究	高橋 克	歯科口腔外科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
神経筋活動をモニターし瞬目および眼球運動が可能な顔面エピテーゼの開発	高藤 洋之	歯科口腔外科	600,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
ヒト骨形成因子遺伝子導入による軟骨、骨誘導	大久保 康則	歯科口腔外科	1,000,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
人工生体材料と評価システムの開発および応用	別所 和久	歯科口腔外科	37,800,000	補 委	トヨタ自動車株式会社
内耳再生医療の内耳疾患モデルへの応用	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	10,400,000	補 委	文部科学省基盤研究(A)継続
移植ES細胞と蝸牛有毛細胞の有機的結合による聴覚機能再生	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,700,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規
内耳再生医療技術の開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	0	補 委	文部科学省
各種生理活性物質の内耳傷害抑制・再生に関する基礎的検討 2	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	2,002,000	補 委	小野薬品工業㈱
感音難聴に対する内耳薬物投与システム臨床応用に関する研究	中川 隆之	耳鼻咽喉科	12,099,000	補 委	厚生労働省 感覚器障害研究事業
脂肪細胞由来幹細胞を用いた内耳再生に関する研究	中川 隆之	耳鼻咽喉科	2,200,000	補 委	オリンパス株式会社
臨床応用に直結する内耳遺伝子治療技術の開発	中川 隆之	耳鼻咽喉科	3,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)(2)継続
自己骨髄由来間葉系幹細胞移植による声帯および周辺組織の再生	金丸 眞一	耳鼻咽喉科	1,500,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
胚性幹細胞(ES細胞)から内耳感覚器細胞への運命決定を担う遺伝子群の同定	小島 憲	耳鼻咽喉科	1,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
SOCS1の心筋虚血再灌流障害における保護作用	谷本 圭司	集中治療部	2,200,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
klotho遺伝子のステロイドに対する制御機構への関与	辻川 洋	集中治療部	400,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
日本人乳児・新生児糖尿病の原因遺伝子解析:特にKir6. 2とその関連遺伝子の関与	依藤 亨	小児科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
抗癌剤による新しい細胞死誘導機序の解析	足立 壯一	小児科	1,600,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
ヒト胚性幹細胞からの心筋分化機構の解明	馬場 志郎	小児科	1,320,000	補 委	文部科学省若手研究(スタートアップ)新規
霊長類胚性細胞(ES細胞)を用いた選択的成熟赤血球産生の基盤技術開発	梅田 雄嗣	小児科	1,700,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
先天性免疫不全症の原因遺伝子同定および病態形成機序の解明	中畑 龍俊	小児科	0	補 ○	(独)理化学研究所
筋ジストロフィーに対する治療研究を臨床に展開するための統括的研究	平家 俊男	小児科	2,000,000	補 ○	国立精神・神経センター
胚性幹細胞に由来する骨格筋幹細胞を用いた筋変性疾患治療の基盤技術開発	平家 俊男	小児科	8,000,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
骨髄由来多能性組織幹細胞の作成と同幹細胞を用いた心不全疾患治療の基盤技術の開発	平家 俊男	小児科	1,600,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
FK506のマイクロスフェア腸用製剤に関する実験的検討	千葉 勉	消化器内科	110,000	補 ○	アステラス製薬株式会社
高周波フードナイフの開発	宮本 心一	消化器内科	100,000	補 ○	フジノン株式会社
術後十二指腸乳頭機能不全が生体肝移植後胆道合併症に及ぼす影響の検討	八隅 秀二郎	消化器内科	1,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
塩基性線維芽細胞増殖因子の気道内徐放投与による肺高血圧治療の研究	丸井 晃	心臓血管外科	1,800,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
増殖因子の局所投与および血流源としての大綱を組み合わせた冠動脈再生療法	佐地 嘉章	心臓血管外科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
インターフェロン徐放による心不全治療の研究	仁科 健	心臓血管外科	2,000,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規
脂肪組織由来間葉系幹細胞による重症心不全治療法の開発	丹原 圭一	心臓血管外科	5,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
複数の増殖因子の計画的除放を用いた新しい血管新生治療の開発	池田 義	心臓血管外科	4,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)(2)継続
ES細胞由来の心筋前駆細胞の虚血心への移植の有効性に関する研究	米田 正始	心臓血管外科	3,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)(2)継続
てんかんの新たな治療法開発と標準化に関する基礎的・臨床的研究	池田 昭夫	神経内科	700,000	補 ○	国立精神・神経センター
常染色体優性外側側頭葉てんかんの病態解明の融合的研究	池田 昭夫	神経内科	1,800,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
虚血巣特異的ドラッグデリバリーシステムの開発	田中 智洋	神経内科	1,800,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
ヒトにおける運動抑制の脳内機構の研究ー脳磁図計測と磁気刺激法の統合	美馬 達哉	神経内科	1,900,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
機能的磁気共鳴画像と磁気刺激の併用法によるヒト基底核ー皮質ループの可塑性の研究	美馬 達哉	神経内科	2,700,000	補 委	文部科学省特定領域研究新規
皮質間および皮質下構造ネットワークと高次脳機能	福山 秀直	神経内科	3,200,000	補 委	文部科学省特定領域研究新規
虚血性神経障害に対する免疫療法の開発	富本秀和	神経内科	2,000,000	補 委	長寿医療研究委託事業
高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基盤的研究	赤水 尚史	探索医療センター	1,600,000	補 委	厚生労働省科学研究費(長寿科学総合研究事業)
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	赤水 尚史	探索医療センター	1,800,000	補 委	厚生労働省科学研究費(難治性疾患克服研究事業)
ヒトゲノム・再生医療等研究事業「再生医療等の先端医療分野におけるインフォームド・コンセント取得と生命倫理に関する研究」	横出 正之	探索医療センター	5,100,000	補 委	厚生労働省科学研究費補助金
血管再構築・動脈硬化病変における造血幹細胞関与の分子機序と創薬標的の探索研究	横出 正之	探索医療センター	2,000,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
ヒト心筋幹細胞移植療法の前臨床的確立と細胞組織工学によるハイブリッド療法の開発	王 英正	探索医療センター	11,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
胚性幹細胞との細胞融合及び遺伝子工学的手法で再プログラムされた心筋幹細胞株の樹立	王 英正	探索医療センター	3,300,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規
抗酸化作用を持つプロバイオティクスを用いた炎症性腸疾患治療法の開発	西尾 彰功	内視鏡部	1,400,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
代謝異常症候群モデルマウスの病態解析	益崎 裕章	内分泌・代謝内科	7,400,000	補 委	文部科学省特定領域研究(2)継続
脂肪細胞機能と代謝症候群の分子関連	益崎 裕章	内分泌・代謝内科	3,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)(2)継続
先天性全身性脂肪萎縮症の病因遺伝子の解析	海老原 健	内分泌・代謝内科	1,300,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
糖尿病領域における臨床応用を目指したレプチンの基盤研究	宮永 史子	内分泌・代謝内科	1,300,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
ヒトES細胞由来血管前駆細胞と血管ホルモンを用いた虚血脳再生医療の開発	宮下 和季	内分泌・代謝内科	1,200,000	補 委	文部科学省特別研究員奨励費新規

注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
ヒトES細胞を用いた生活習慣病血管合併症に対する新規血管再生医療の開発	曾根 正勝	内分泌・代謝内科	1,100,000	補 委	文部科学省特別研究員奨励費継続
抗肥満、血管再生因子としての生理活性ペプチドの治療応用	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,500,000	補 委	国立循環器病センター
心臓血管ホルモンのトランスレーショナルリサーチ	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,500,000	補 委	第一製薬㈱
メタボリック症候群を標的としたトランスレーショナルリサーチ	中尾 一和	内分泌・代謝内科	2,727,000	補 委	塩野義製薬株式会社
脂肪内分泌代謝学を基盤としたメタボリック症候群のトランスレーショナルリサーチ	中尾 一和	内分泌・代謝内科	11,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(S)継続
尿管再生をめざした新規生体吸収性合成材料の開発	伊藤 哲之	泌尿器科	1,700,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
腫瘍Redox応答系を用いた尿路性器癌における転移病巣特異的分子標的治療の開発	宗田 武(高橋)	泌尿器科	2,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
泌尿器科がんの統合的OMICSデータの臨床応用を目指した検証研究	小川 修	泌尿器科	13,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(A)新規
治療アウトカムに立脚した泌尿器科がんの治療反応性予測のための分子マーカーの開発	小川 修	泌尿器科	5,600,000	補 委	文部科学省特定領域研究新規
新規樹立細胞株とXenograftを用いた前立腺癌に対する治療標的分子の同定	小林 恭	泌尿器科	1,000,000	補 委	文部科学省特別研究員奨励費新規
細胞内ストレス応答経路の制御による化学療法耐性克服の分子メカニズムと臨床応用	松井 喜之	泌尿器科	900,000	補 委	文部科学省特別研究員奨励費継続
腎細胞癌の腫瘍血管微細構造に着目した抗血管新生療法感受性に関する研究	神波 大己	泌尿器科	2,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
細胞培養上清のProterme解析による尿路性器癌腫瘍マーカーの同定	中村 英二郎	泌尿器科	4,900,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)継続
皮膚人工基底膜の創製	宇谷 厚志	皮膚科	1,000,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
紫外線発癌におけるプロスタノイドの分子機序解明と治療創薬開発	宮地 良樹	皮膚科	1,100,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
難治性皮膚角化症・ダリエー病に対する治療薬の開発	高橋 健造	皮膚科	2,000,000	補 委	(独)科学技術振興機構

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
優性遺伝性皮膚疾患(ダリエー病、ヘイリー・ヘイリー病)治療薬のスクリーニング	高橋 健造	皮膚科	1,400,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
ケロイドマウス創製による治療法開発	是枝 哲	皮膚科	1,300,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
色素性乾皮症バリエーション群の遺伝子診断法を確立する。	谷岡 未樹	皮膚科	2,000,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
肝臓移植における細胆管再生の定量的評価法の確立	羽賀 博典	病理部	400,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
四次元治療計画を用いた画像誘導放射線治療システムの開発	永田 靖	放射線治療科	7,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
放射性微小球を用いた肝腫瘍に対する内照射療法の開発	荒木 則雄	放射線治療科	1,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	8,498,700	補 委	株式会社 島津製作所
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	210,465,150	補 委	技術研究組合医療福祉機器研究所
「京都市地域結集型共同研究事業 ナノメディシン拠点形成の基盤技術開発」	平岡 眞寛	放射線治療科	840,000	補 委	(財)京都高度技術研究所
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	12,052,950	補 委	日本メジフィジックス(株)
分子標的薬剤と革新的放射線治療を用いた新たながん治療戦略(日中医学)	平岡 眞寛	放射線治療科	2,500,000	補 委	(独)日本学術振興会
小動物用蛍光イメージング装置の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	1,520,000	補 委	株式会社 島津製作所
先進的高精度放射線治療装置技術開発に関する研究	平岡 眞寛	放射線治療科	909,090	補 委	三菱重工業株式会社
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	144,357,150	補 委	東芝メディカルシステムズ(株)
マウスの同所性移植肺癌モデルとイメージングシステムを用いた、TS-1と放射線の併用効果に関する研究	平岡 眞寛	放射線治療科	300,000	補 委	大鵬薬品工業(株)
Adaptive四次元放射線治療に向けた患部挙動解析及びフィードバック技術の開発研究	平岡 眞寛	放射線治療科	9,450,000	補 委	三菱重工業株式会社

注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
高精度放射線治療の教育システムと研修プログラムの開発	平岡 眞寛	放射線治療科	10,000,000	補 委	(株)ハリアン メディカル システムズ*
腫瘍低酸素を標的とした生物学的および物理工学的新規放射線治療戦略	平岡 眞寛	放射線治療科	14,300,000	補 委	文部科学省特定領域研究継続
3テスラMRI装置を用いたMRスペクトロスコピーによる脾臓量とその脾内分布の評価	磯田 裕義	放射線部	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
新しいラジオ波焼却術用穿刺針の開発と臨床応用	柴田 登志也	放射線部	500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)(2)継続
脳内ニコチン性アセチルコリン受容体結合能の加齢性変化と禁煙の影響	石津 浩一	放射線部	1,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
甲状腺腫瘍におけるエラストグラフィを用いた術前良悪性鑑別診断法の開発	東 達也	放射線部	500,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
自己免疫疾患に対する特異抗原と免疫調整物質を用いた疾患特異的治療法の開発	臼井 崇	免疫・膠原病内科	2,600,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
関節炎抑制蛋白によるリウマチ性疾患の病態解析と新規治療法開発に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	6,400,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規

合計 152

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun.	Essential role of Hand2 in interventricular septum formation and trabeculation during cardiac development	田中 誠	地域ネットワーク医療部
Int J Mol Med.	Endothelin-1 activates Homer 1alpha expression via mitogen-activated protein kinase in cardiac myocytes	田中 誠	地域ネットワーク医療部
Lab Invest.	Roles of coagulation pathway and factor Xa in rat mesangioproliferative glomerulonephritis.	田中 誠	地域ネットワーク医療部
Clin Exp Nephrol.	Glomerulonephritis induced by methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection that progressed during puerperal period	田中 誠	地域ネットワーク医療部
Histology and histopathology 2007, 22, 85-90	Protection from oxidative stress by enhanced glycolysis; a possible mechanism of cellular immortalization.	Hiroshi Kondoh	老年内科
Antioxidants and Redox Signaling 2007 9 293-299	A high glycolytic flux supports the proliferative potential of murine Embryonic Stem cells.	Hiroshi Kondoh	老年内科
Stem Cells	HOX decoy peptide enhances the ex vivo expansion of human umbilical cord blood HSCs.	Tanaka H	小児科
Clin.Pediatr.Endocrinol.	Prevalence of mutations in the FGFR3 genes in individuals with idiopathic short stature.	Mamada M	小児科
Blood	Acute lymphoblastic leukemia with a germline <i>MLL</i> gene can be cured in a high proportion of infants with use of intensive chemotherapy: results from the Japan Infant Leukemia Study Group.	Nagayama J	小児科
Stem Cells	Identification and characterization of hemoangiogenic progenitors during cynomolgus monkey embryonic stem cell differentiation.	Umeda K.	小児科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Stem Cells	Highly efficient ex vivo expansion of human hematopoietic stem cells using Delta 1-Fc chimeric protein.	Suzuki T	小児科
Brit. J. Haematol.	Preceding immunosuppressive therapy with antithymocyte globulin and cyclosporin increases the incidence of graft rejection in children with aplastic anemia who underwent allogeneic bone marrow transplantation from HLA-identical siblings.	Kobayashi R	小児科
Arthritis Rheum	Replay	Saito M.	小児科
Eur. J. Radiol.	Buchem MA, Togashi K.: Whole brain magnetization transfer histogram analysis of pediatric acute lymphoblastic leukemia patients receiving intrathecal methotrexate therapy.	Yamamoto A	小児科
Proc. Natl Acad. Sci. USA	A neurosphere-derived factor(NDF), Cystatin C, supports differentiation of ES cells into neural stem cells.	Kato T	小児科
Int. Immunol.	IgE-activated mast cells in combination with pro-inflammatory factors induce Th2-promoting dendritic cells.	Kitawaki T	小児科
Eur J Pediatr.	Familial hemophagocytic lymphohistiocytosis with the MUNC13-4 mutation: a case report	Mizumoto H	小児科
Blood	$\alpha 4$ -integrin+ endothelium derived from primate embryonic stem cells generates primitive and definitive hematopoietic cells.	Shinoda, G	小児科
Microsurgery	Limb salvage of infected diabetic foot ulcers with free deep inferior epigastric perforator flaps.	Ohta, M.	形成外科
Inflamation and Regeneration	Nicotine at a low concentration promotes wound healing.	Morimoto, N.	形成外科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Lab. Invest.	Identification of cartilage progenitor cells in the adult ear perichondrium: Utilization for cartilage reconstruction.	Togo, T.	形成外科
Congenital Anomalies	Regional heterogeneity in the developing palate: morphological and molecular evidence for normal and abnormal palatogenesis.	Okano, J.	形成外科
日本マイクロサージャリー学会誌	分割内側足底皮弁の経験	沢辺一馬	形成外科
日本マイクロサージャリー学会誌	脊椎脊索腫切除後の咽頭後壁再建の経験	山脇聖子	形成外科
日本頭蓋顎顔面外科学会誌	両側唇裂外鼻変形に対する鼻腔底・上口唇筋層再建を重視した外鼻二次修正術—両側唇裂の治療戦略—	川添剛	形成外科
日本手の外科学会誌	Brent変法(手掌ポケット法)を用いた新しい爪再建法	沢辺一馬	形成外科
Pain 2006; 126: 16-23	Bradykinin is a potent pruritogen in atopic dermatitis: A switch from pain to itch.	細木美和	皮膚科
J Immunol. 2006 ; 177: 4917-26	An anti-IL-12p40 antibody down-regulates type 1 cytokines, chemokines, and IL-12/IL-23 in psoriasis	十一英子	皮膚科
J Immunol. 2006; 176: 4748-56.	Control of autoimmune myocarditis and multiorgan inflammation by glucocorticoid-induced TNF receptor family-related protein(high), Foxp3-expressing CD25+ and CD25- regulatory T cells.	小野昌弘	皮膚科
Nat Rev Neurosci. 2006; 7: 535-47	The neurobiology of itch.	生駒晃彦	皮膚科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を入力すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
JMAJ 2006; 49: 62-9.	Recent trend in Pressure Ulcer Treatment in Japan.	宮地良樹	皮膚科
Jpn J ClinOncol. ; 36: 104-108, 2006	Biweekly Paclitaxel and Gemcitabine for Patients with AdvancedUrothelial Cancer Ineligible for Cisplatin-Based Regimen.	Ogawa O	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 36: 116-120, 2006	Association of the PIG3 Promoter Polymorphism with Invasive BladderCancer in a Japanese Population.	Ogawa O	泌尿器科
Oncogene. 2006 Mar 6	Dicoumarol potentiates cisplatin-induced apoptosis mediated by c-Jun N-terminal kinase in p53 wild-type urogenital cancer cell lines.	Ogawa O	泌尿器科
J Clin Oncol, 24: 1982-1989, 2006	Impact of IGF-I and CYP19 gene polymorphisms on the survival of patients with metastatic prostate cancer.	Ogawa O	泌尿器科
Biol Pharm Bull, 7: 1441-1444, 2006	Evaluation of Calvert's formula for dosage adjustment of carboplatin in Japanese patients with hormone refractory prostate cancer.	Ogawa O	泌尿器科
BJU Int, 98: 197-200, 2006	High-grade and hormone-treated prostate cancer express high levels of thymidylate synthase.	Ogawa O	泌尿器科
Int. J. Urol., 6:703-706, 2006	THE TOHOKU-KYOTO URINARY RECONSTRUCTION STUDY GROUP. 5-year interval change in voiding function of orthotopic ileal neobladder.	Ogawa O	泌尿器科
Cancer Sci., 97:746-752, 2006	High throughput comparative genomic hybridization array analysis of multifocal urothelial cancers.	Ogawa O	泌尿器科
Mol Endocrinol., 20:3053-3069, 2006	Requirement of Androgen-Dependent Activation of Protein KinaseC{zeta} for Androgen-Dependent Cell Proliferation in LNCaP Cells and Its Roles in Transition to Androgen-Independent Cells.	Ogawa O	泌尿器科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Control Release., 116:75-82, 2006	Efficient gene transfer by pullulan-spermine occurs through both clathrin- and raft/caveolae-dependent mechanisms.	Ogawa O	泌尿器科
Int J Clin Oncol., 11:396-402, 2006	Results of radiation therapy combined with neoadjuvant hormonal therapy for stage III prostate cancer: comparison of two different definitions of PSA failure.	Ogawa O	泌尿器科
Prostate Cancer Prostatic Dis. 2006 Dec 12	Health-related quality-of-life after external beam radiation therapy for localized prostate cancer: intensity-modulated radiation therapy versus conformal radiation therapy.	Ogawa O	泌尿器科
J Surg Oncol., 94:619-623, 2006	Significance of elevated preoperative alpha-fetoprotein in postchemotherapy residual tumor resection for the disseminated germ cell tumors.	Kamoto T	泌尿器科
J Anesth	Omission of fentanyl during sevoflurane anesthesia decreases the incidences of postoperative nausea and vomiting and accelerates postanesthesia recovery in major breast cancer surgery	Shirakami G	デイ・サージャリー診療部
Ann N Y Acad Sci	Uterine contractility evaluated on cine magnetic resonance imaging.	Togashi K	放射線診断科
Neuroradiology	Evaluation of pituitary macroadenomas with multidetector-row CT (MDCT): comparison with MR imaging.	Miki Y	放射線診断科
AJR Am J Roentgenol	Clinical value of manual fusion of PET and CT images in patients with suspected recurrent colorectal cancer.	Nakamoto Y	放射線診断科
Radiology	Corticospinal tract localization: integration of diffusion-tensor tractography at 3-T MR imaging with intraoperative white matter stimulation mapping--- preliminary results.	Okada T	放射線診断科
Circulation	Images in cardiovascular medicine. Multimodality imaging of cardiac sarcoidosis before and after steroid therapy.	Tadamura E	放射線診断科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Abdom Imaging	Secondary ovarian tumors: spectrum of CT and MR features with pathologic correlation.	Koyama T	放射線部
Eur Radiol	Staging of carcinoma of the uterine cervix and endometrium.	Koyama T	放射線部
Int J Clin Oncol	Current status of body MR imaging: fast MR imaging and diffusion-weighted imaging.	Koyama T	放射線部
Ann Nucl Med	Diagnostic accuracy of bone metastases detection in cancer patients: comparison between bone scintigraphy and whole-body FDG-PET.	Fujimoto R	放射線部
Radiology	Esophageal cancer: evaluation with triple-phase dynamic CT—initial experience.	Koyama T	放射線部
Ophthalmology 114:763- 773,2007	Three-dimensional imaging of macular holes with high-speed optical coherence tomography.	Hangai M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 47:5529- 5536,2006	Time-lapse imaging of vitreoretinal angiogenesis originating from both quiescent and mature vessels in a novel ex vivo system.	Murakami T	眼科
AmJ Ophthalmol 142:475-48 2, 2006	Scanning laser polarimetry with variable corneal compensation and optical coherence tomography in tilted disk.	Yu S	眼科
AmJ Ophthalmol 143:342- 344,2007	Perimetric sensitivity with the Micro Perimeter 1 and retinal thickness in patients with branch retinal vein occlusion.	Yanmaiike N	眼科
AmJ Ophthalmol 142:318-320, 2006	Intravitreal tissue plasminogen activator to treat macular edema associated with branch retinal vein occlusion.	Murakami T	眼科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
AmJ Ophthalmol 142,601- 607,2006	Polypoidal choroidal vasculopathy with choroidal vascular hyperpermeability.	Sasahara M	眼科
Jpn J Ophthalmol 50,509-514,2006	Alteration of leukocyte-endothelial cell interaction during aging in retinal microcirculation of hypertensive rats.	Miyahara S	眼科
AmJ Pathol 168:331- 339,2006	EphrinA1 inhibits vascular endothelial growth factor-induced intracellular signaling and suppresses retinal neovascularization and blood-retinal barrier breakdown.	Ojima T	眼科
Biochem Biophys Res Commun 344:1071-9,2006	Effects of bone marrow stromal cell injection in an experimental glaucoma model.	Yu S	眼科
Journal of Geriatric Psychiatry and Neurology	Error processing during lexical recognition task in patients with Parkinson's disease.	伊藤 順子	検査部
Intern Med	Successful treatment of primary Sjögren's syndrome with chronic natural killer lymphocytosis by high-dose prednisolone and indomethacin farnesil.	藤井隆夫	免疫・膠原病内科
Mod Rheumatol	Successful treatment of a patient with refractory adult Still's disease by tacrolimus.	藤井隆夫	免疫・膠原病内科
Scand J Immunol	Anti-p97/VCP Antivodies: An Autoantibody Marker for a Subset of Primary Viliary Cirrhosis Patients with Milder Disease?	三森経世	免疫・膠原病内科
Intern Med	Antisynthetase Syndrome Associated with Sarcoidosis	三森経世	免疫・膠原病内科
Autoimmunity	Anti-aminoacyl-tARNA Synthetase antivodies in clinical course prediction of interstitial lung disease complicated with idiopathic inflammatory myopathies	吉藤元	免疫・膠原病内科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Intern Med	Incidence of Pulmonary Hypertension and Its Clinical Relevance in Patients with Interstitial Pneumonias: Comparison between Idiopathic and Collagen Vascular Disease Associated Interstitial Pneumonias	湯川尚一郎	免疫・膠原病内科
Ann Rheum Dis	Efficacy of rituximab (anti-CD20) for refractory systemic lupus erythematosus involving the central nervous system	川端大介	免疫・膠原病内科
Ann Otol Rhinol Laryngol.	Tissue engineering for regeneration of the tracheal epithelium.	Notmoto Y	耳鼻科
Laryngoscope	Cranial bone regeneration using a composite scaffold of beta-tricalcium phosphate, collagen, and autologous bone fragments.	Kishimoto M	耳鼻科
Tissue Eng.	Effect of Fibroblasts on Tracheal Epithelial Regeneration in Vitro. Effect of Fibroblasts on Tracheal Epithelial Regeneration in vitro.	Kobayashi K	耳鼻科
Proceeding of the 5th International Symposium Meniere's Disease & Inner Ear Homeostasis	Cell therapy for inner ear diseases.	Ito J	耳鼻科
Laryngoscope	Cochlear protection by local IGF-1 application using biodegradable hydrogel.	Iwai K	耳鼻科
Laryngoscope	Age-dependent degeneration of the stria vascularis in human cochleae.	Suzuki T	耳鼻科
Neuroscience Res	Distribution of GFP expressing cells in the developing inner ear of pHes1- or pHes5-d2EGFP transgenic mouse.	Kojima K	耳鼻科
Exp Neurol	Cell transplantation to the auditory nerve and cochlear duct.	Sekiya T	耳鼻科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Mol Ther	Cell-gene delivery of brain-derived neurotrophic factor to the mouse inner ear.	Okano T	耳鼻科
Blood	Virus-stimulated plasmacytoid dendritic cells induce CD4+ cytotoxic regulatory T cells.	川村和子	血液・腫瘍内科
Virology	Ubiquitination of APOBEC3 proteins by the Vif-Cullin5-ElonginB-ElonginC complex.	白川康太郎	血液・腫瘍内科
J Immunotherapy	Dendritic cells that endocytosed antigen-containing IgG-liposomes elicit effective anti-tumor immunity.	川村和子	血液・腫瘍内科
Int J Hematol	Antibody responses associated with the graft-versus-leukemia effect in adult T-cell leukemia.	菱澤方勝	血液・腫瘍内科
Int Immunol.	Foxp3-dependent and -independent molecules specific for CD25+ CD4+ natural regulatory T cells revealed by DNA microarray analysis.	杉本尚志	血液・腫瘍内科
Int Immunol,	IgE-activated mast cells in combination with proinflammatory factors induce Th2-promoting dendritic cells.	北脇年雄	血液・腫瘍内科
Life Sci	LPS-induced ROS generation and changes in glutathione level and their relation to the maturation of human monocyte-derived dendritic cells.	山田絃子	血液・腫瘍内科
Exp. Hematol.	Identification of HLA class I-restricted tumor-associated antigens in adult T cell leukemia cells by mass spectrometric analysis.	河原真大	血液・腫瘍内科
Curr Biol	Murine retrovirus escapes from murine APOBEC3 via 2 distinct novel mechanisms.	Aierken Abudu	血液・腫瘍内科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Endocrinology	The neuroprotective and vasculo-neuro-regenerative roles of adrenomedullin in ischemic brain and its therapeutic potential.	K. Miyashita	内分泌・代謝内科
Diabetologia	Expression of the gene for a membrane-bound fatty acid receptor in the pancreas and islet cell tumors in humans: evidence for GPR40 expression in pancreatic beta cells and implications for insulin secretion.	T. Tomita	内分泌・代謝内科
Diabetologia	Transgenic overexpression of brain natriuretic peptide prevents the progression of diabetic nephropathy in mice.	M. Mukoyama	内分泌・代謝内科
J. Mol. Cell. Cardiol.	Class II HDACs mediate CaMK-dependent signaling to NRSF in ventricular myocytes.	Y. Nakagawa	内分泌・代謝内科
J. Clin. Endocrinol. Metab.	Efficacy and safety of leptin-replacement therapy and possible mechanisms of leptin actions in patients with generalized lipodystrophy.	K. Ebihara	内分泌・代謝内科
J. Appl. Physiol.	Effect of acute activation of 5'-AMP-activated protein kinase on glycogen regulation in isolated rat skeletal muscle.	L. Miyamoto	内分泌・代謝内科
FEBS Lett.	Augmentation of 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase type 1 in LPS-activated J774.1 macrophages: role of 11 β -HSD1 in pro-inflammatory properties in macrophages.	T. Ishii	内分泌・代謝内科
Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics	Transport characteristics of a novel peptide transporter 1 substrate, antihypotensive drug midodrine, and its amino acid derivatives	乾 賢一	薬剤部
Drug Metabolism and Pharmacokinetics	Delayed effect of grapefruit juice on pharmacokinetics and pharmacodynamics of tacrolimus in a living-donor liver transplant recipient	乾 賢一	薬剤部
Journal of American Society of Nephrology	Identification and functional characterization of a new human kidney-specific H ⁺ /organic cation antiporter, kidney-specific multidrug and toxin extrusion 2	乾 賢一	薬剤部

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なるものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics	Human organic anion transporter 3 gene is regulated constitutively and inducibly via a cAMP-response element	乾 賢一	薬剤部
Biological and Pharmaceutical Bulletin	Evaluation of Calvert's formula for dosage adjustment of carboplatin in Japanese patients with hormone refractory prostate cancer	乾 賢一	薬剤部
Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics	Cisplatin and oxaliplatin, but not carboplatin and nedaplatin, are substrates for human organic cation transporters (SLC22A1-3 and multidrug and toxin extrusion family)	乾 賢一	薬剤部
Clinical Pharmacology and Therapeutics	Population pharmacokinetic and pharmacogenomic analysis of tacrolimus in pediatric living-donor liver transplant recipients	乾 賢一	薬剤部
Drug Metabolism and Pharmacokinetics	Temporal decline in sirolimus elimination immediately after pancreatic islet transplantation	乾 賢一	薬剤部
Int. J. Radiation Oncology Biol. Phys.	Development of a four-dimensional image-guided radiotherapy system with a gimballed x-ray head	Takayama K.	放射線治療科
Pancreatology.	Chemoradiotherapy in patients with pancreatic carcinoma:Phase I study with a fixed radiation dose and escalating doses of weekly Gemcitabine.	Shibuya K.	放射線治療科
Inflamm Bowel Dis 12:62-69:2006.	Specific antibodies against recombinant protein of insertion element 900 of Mycobacterium avium subspecies paratuberculosis in Japanese patients with Crohn's disease.	仲瀬 裕志	消化器内科
Gastroenterology 130:855-867:2006.	Loss of the major duodenal papilla results in brown pigment biliary stone formation in pdx1 null mice.	千葉 勉	消化器内科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 290:G772-781:2006.	Protective roles of redox-active protein thioredoxin-1 for severe acute pancreatitis.	千葉 勉	消化器内科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Pancreas 32:264-270:2006.	Clinical significance of serum thioredoxin-1 levels in patients with acute pancreatitis.	千葉 勉	消化器内科
Gastrointest Endosc 64:125-126:2006.	Transpapillary biliary biopsy for early stage cholangiocarcinoma of the distal common bile duct.	千葉 勉	消化器内科
Dig Dis Sci 51:1052-1055:2006.	Cytomegalovirus infection in patients with ulcerative colitis diagnosed by quantitative real-time PCR analysis.	千葉 勉	消化器内科
Gastrointest Endosc 64:271:2006.	Crane-neck deformity after right lobe living donor liver transplantation.	千葉 勉	消化器内科
J Viral Hepat 13:523-531:2006.	Response to antiviral therapy in recurrent hepatitis C: a possible role for defective viral clones.	千葉 勉	消化器内科
Clin Gastroenterol Hepatol 4:1296:2006.	Endoscopic management of biliary stricture after right-lobe living-donor liver transplantation with biliary anastomosis.	八隅 秀二郎	消化器内科
J Hepato Biliary Panc Surg 13:502-510:2006.	Endoscopic treatment of biliary complications after right-lobe living-donor liver transplantation with duct-to-duct biliary reconstruction.	八隅 秀二郎	消化器内科
Gastroenterology 131:1110-1121:2006.	Human Thioredoxin-1 Ameliorates Experimental Murine Colitis in Association with Suppressed MIF Production.	千葉 勉	消化器内科
Am J Transplantation 6:2680-2685:2006.	Beneficial effects of short-term lamivudine treatment for de novo hepatitis B virus reactivation after liver transplantation.	千葉 勉	消化器内科
Inflamm Bowel Dis 13:1:2006	Importance of early detection of cytomegalovirus infection in refractory inflammatory bowel disease.	仲瀬 裕志	消化器内科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
The Journal of Arthroplasty	Computer-Assisted Fluoroscopic Navigation System for Removal of Distal Femoral Bone Cement in Revision Total Hip Arthroplasty	Haruhikko Akiyama	整形外科
Clin Eval vol.33 no.3	Investigator-sponsored clinical trials at Kyoto University Hospital	横出 正之	探索医療臨床部
Geriatr Gerontol Int:6(4)	Collaboration between university hospitals and local medical communities in Japan evaluated by a questionnaire among doctors	横出 正之	探索医療臨床部
Circulation Journal Vol.70 No.9	Effects of MCI-186(Edaravone), a Novel Free Radical Scavenger, Upon Experimental Atherosclerosis in Apolipoprotein E-Deficient Mice	横出 正之	探索医療臨床部
Biochemical and Biophysical Research Communications 351	Protection of atherogenesis in thromboxane A2 receptor-deficient mice is not associated with thromboxane A2 receptor in bone marrow-derived cells	横出 正之	探索医療臨床部
Exp Clin Cardiol Vol.11 No.4	Effects of exercise on the development of atherosclerosis in apolipoprotein E-deficient mice	横出 正之	探索医療臨床部
Atherosclerosis	Mulberry leaf aqueous fractions inhibit TNF-alpha-induced nuclear factor kappaB(NF-kappaB) activation and lectin-like oxidized LDL receptor-1(LOX-1) expression in vascular endothelial cells	横出 正之	探索医療臨床部
Cardiovasc Res	Swimming reduces the severity of atherosclerosis in apolipoprotein E deficient mice by antioxidant effects	横出 正之	探索医療臨床部
Antioxid Redox Signal	A High Glycolytic Flux Supports the Proliferative Potential of Murine Embryonic Stem Cells	横出 正之	探索医療臨床部
Circulatin 114	CD34-Positive Cells Exhibit Increased Potency and Safety for Therapeutic Neovascularization After Myocardial Infarction Compared With Total Mononuclear Cells	村山 敏典	探索医療臨床部

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Diabetologia	Ghrelin prevents development of diabetes at adult age in streptozotocin-treated newborn rats	Irako T	探索医療センター 探索医療開発部
Biochemical and Biophysical Research Communications	Human cardiac stem cells exhibit mesenchymal features and are maintained through Akt/GSK-3 β signaling	Tateishi, K	探索医療センター 探索医療開発部
Clinical Cancer Reserch	Nitroglycerin treatment may increase response to docetaxel and carboplatin regimen via inhibitions of hypoxia-inducible factor-1 pathway and P-glycoprotein in patients with lung adenocarcinoma.	安田浩康	外来化学療法部
Oncology	Single-agent gemcitabine for biliary tract cancers. Study outcomes and systematic review of literature.	木場崇剛	外来化学療法部
癌と化学療法	外来化学療法 京都大学医学部附属病院の外来化学療法.	西村貴文	外来化学療法部
癌と化学療法	科学的根拠に基づいた悪心と嘔吐の対処法	石黒洋	外来化学療法部
Medicina	化学療法中の患者で見られる下痢・便秘	金井雅史	外来化学療法部
Cancer Genet Cytogenet	Genome-Wide Semiquantitative Microsatellite Analysis of Human Hepatocellular Carcinoma: Discrete Mapping of Shortest Region of Overlap of Recurrent Chromosomal Gains and Losses.	西村貴文	外来化学療法部
分子呼吸器病	進行非小細胞肺癌における抗癌剤とニトログリセリン併用療法の個別化医療への展望	安田浩康	外来化学療法部
診断と治療	糖尿病合併肺炎の診療上の注意点	安田浩康	外来化学療法部

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Cancer Reserch	Loss of Kruppel-like Factor 4 Expression Contributes to Sp1 Overexpression and Human Gastric Cancer Development and Progression	金井雅史	外来化学療法部
Liver Transpl	Acute humoral rejection and C4d immunostaining in ABO blood type-incompatible liver transplantation	Haga H	病理診断部
Transpl Immunol	Correlation between acute rejection severity and CD8-positive T cells in living related liver transplantation	Kubota N	病理診断部
Hepatology	Liver biopsy interpretation for causes of late liver allograft dysfunction	Demetris AJ	病理診断部
Transplantation	Antidonor Antibody in Patients Receiving ABO-identical and HLA-Mismatched Living Donor Liver Transplants: Effect on Survival	Ashihara E	病理診断部
Stroke 2006 37 (11) 2816-2823	MMP-2 play a critical role in the pathogenesis of white matter lesions after chronic cerebral hypoperfusion in rodents.	Nakaji K	神経内科
Stroke. 2006 Mar;37(3): 830-835	Upregulated expression of 14-3-3 proteins in astrocytes from human cerebrovascular ischemic lesions.	Kawamoto Y	神経内科
Clin Neurophysiol 117: 33-40, 2006	Evidence of a wide distribution of negative motor areas in the perirolandic cortex.	Mikuni N	神経内科
Int Med 45:141-144, 2006	Clinical outcome of patients with SREDA (Subclinical Rhythmic EEG Discharge of Adults).	Ikeda A	神経内科
Epileptic Disord 8: 61-64, 2006	"Burst and slow complexes" in nonconvulsive, epileptic status	Ikeda A	神経内科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Clin Neurophysiol 117: 1481-1486, 2006	Generators and temporal succession of giant somatosensory evoked potentials: epicortical recording from sensorimotor cortex.	Hitomi T	神経内科
Neurosci Lett 399: 1-5, 2006	Bereitschaftspotentials recorded from the lateral part of the superior frontal gyrus in humans.	Ohara S	神経内科
Seizure 15: 520-527, 2006	Low-frequency electric cortical stimulation decreases interictal and ictal activity in human epilepsy.	Yamamoto J	神経内科
Epilepsia 47:1347-53, 2006	Subtemporal hippocampectomy preserving the basal temporal language area for intractable mesial temporal lobe epilepsy- preliminary results.	Mikuni N	神経内科
Brain and Behavior 8: 560-564, 2006	A tsep-by-step resection guided by electrocorticography for nonmalignant brain tumors associated with long-term intractable epilepsy.	Mikuni N	神経内科
J Neurosurg 106:128-133, 2007	Comparison between motor evoked potential recording and fiber tracking for estimating pyramidal tracts near brain tumors.	Mikuni N	神経内科
Clin Neurophysiol 118: 741-750, 2007	Dynamic change of proximal conduction in demyelinating neuropathies: a cervical magnetic stimulation combined with maximum voluntary contraction.	Hitomi T	神経内科
BMC Musculoskeletal Disorder	Simultaneous gene transfer of BMP-2 and BMP-7 by in vivo electroporation induces rapid bone formation and BMP-4 expression	M.Kawai	口腔外科
Neurosci Res	Somatosensory evoked magnetic fields to air-puff stimulation on the soft palate	K.Yoshida	口腔外科
日口科誌	骨形成因子 (BMP)研究の現状と臨床応用を目指しての展望 =BMPの骨誘導能に関する基礎的研究を中心に=	別所 和久	口腔外科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Gynecol Oncol	Neuropilin-1 promotes unlimited growth of ovarian cancer by evading contact inhibition	馬場 長	産婦人科
Proc Natl Acad Sci U S A.	Programmed cell death 1 ligand 1 and tumor-infiltrating CD8+T lymphocytes are prognostic factors of human ovarian cancer	濱西 潤三	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res	Role of salvage cytoreductive surgery in the treatment of patients with recurrent ovarian cancer after platinum-based chemotherapy	松本 あや	産婦人科
Gynecol Oncol	Precise anatomy of the vesico-uterine ligament for radical hysterectomy	藤井 信吾	産婦人科
Clin Cancer Res	Oncogenic property of acrogranin in human uterine leiomyosarcoma: direct evidence of genetic contribution in in vivo tumorigenesis	松村 謙臣	産婦人科
Endocrinology	Undernutrition in utero augments systolic blood pressure and cardiac remodeling in adult mouse offspring: possible involvement of local cardiac angiotensin system in developmental origins of cardiovascular disease.	川村 真	産婦人科
Nippon Rinsho	Obesity in offspring with maternal undernutrition during pregnancy	由良 茂夫	産婦人科

合計 167

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 内山 卓
管理担当者氏名	薬剤部長 乾 賢一, 総務課長 西田 俊一 医務課長 村西 峰行, 医療安全管理室長 長尾 能雅 医療サービス課長 中西 治幸, 医療情報部長 吉原 博幸

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録	各科診療日誌, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	各診療科	・入院カルテは, 1診療科1カルテであり, 病歴管理室で保管。 ・外来カルテは, 1患者1カルテであり, 病歴管理室で保管。	
	エックス線写真	医務課	・電子化されたカルテ(入院及び外来カルテ)は, 1患者1カルテであり, 電算機室で保管。	
	処方せん	薬剤部		
	病院日誌	総務課		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	医務課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課		
	入院患者数, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課 薬剤部		
	確保の状況 規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
医療機関内の事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には, 個々の記録について記入する必要はなく, 全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 兼山精次
閲覧担当者氏名	総務課長 西田俊一
閲覧の求めに応じる場所	総務課内

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	66.1%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	13,209人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,194人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,917人	
	D：初診の患者の数	28,606人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
・ 所属職員：専任（3）名、兼任（3）名 ・ 活動の主な内容： 1. 医療事故発生時の初動対応と事例調査 2. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業 3. 各部門からのインシデント・アクシデントレポート収集と、サーベイランス・分析・対策立案 4. 医療安全に関する部門連携・委員会活動 5. 職員、学生などへの医療安全教育 6. 医療安全における大学間・病院間・地域間連携	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
・ 指針の主な内容： 1. 病院の基本理念 2. 院内の責任体制及び管理体制の明確化 3. 安全管理のための各種委員会の設置及びリスクマネージャーの配置並びに医療安全管理室の設置 4. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 5. 医療事故発生時における対応について 6. 安全管理に係る研修の実施 7. マニュアル・対応指針等の作成 8. 情報の共有と開示について 9. 患者からの相談等への対応	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年11回
・ 活動の主な内容： 1. 医療事故を防止する方策の検討及び実施 2. 医療事故防止マニュアル等の策定・改善・普及等 3. 発生した医療事故又は発生する危険のあった医療事故等に関する情報収集及び分析並びに防止のための改善策の検討・実施 4. 医療事故防止のための研修・講習・教育等の実施 5. 重要事例の対応決定 6. その他医療事故の防止に関する全般事項	

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年16回（その他、職種別、テーマ別研修会等を随時開催）

・研修の主な内容：

医療事故防止に係る職員の意識改革と安全管理意識の高揚並びに医療資質の向上を図るため、次のとおり教育・研修・講演会を開催した。

●全職種対象

（医療事故防止に関する講演会）

日 時：平成18年6月2日（金）

講演者：米国 アーカンソー大学法科大学院教授 ロバート・B・レフラー 氏

演 題：「日米比較の視点から見た医療事故をめぐる法と政治」

参加者：264名（医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他）

（医療事故防止に関する講演会）

日 時：平成18年8月8日（火）

講演者：東京大学医学部付属病院 病院長 永井良三 氏

演 題：「医療安全と質の改善をめざした大学病院改革」

参加者：308名（医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他）

（医療事故防止に関する講演会）

日 時：平成18年10月19日（木）

講演者：稲垣 克巳 氏

演 題：「医療の安全を願って—医療事故被害者家族の願い」

参加者：441名（医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他）

（医療事故防止に関する講演会）

日 時：平成18年12月13日（水）

講演者：稲垣 克巳 氏

演 題：医療事故防止講演ビデオ上映会（稲垣 克巳 氏）

参加者：54名（医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他）

（医療事故防止に関する講演会）

日 時：平成18年12月14日（木）

講演者：ロバート・B・レフラー 氏

演 題：医療事故防止講演ビデオ上映会（ロバート・B・レフラー 氏）

参加者：63名（医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他）

（院内事例報告会及び医療事故防止に関する講演会）

日 時：平成19年1月26日（金）

講演者：本院医療安全管理部 一山 智 部長、医療安全管理室 長尾能雅 室長、
南山大学大学院法務研究科 教授 加藤良夫 弁護士

演 題：「安全な医療を求めて—医療事故をめぐる諸問題へのアプローチ—」

参加者：201名（医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他）

（医療事故防止に関する講演会）

日 時：平成19年2月15日（金）

講演者：大阪地方検察庁 検事 中澤政臣 氏

演 題：「医療事故と刑事司法」

参加者：369名（医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他）

（院内事例報告会及び医療事故防止に関する講演会）

日 時：平成19年2月21日（水）

講演者：本院医療安全管理部 一山 智 部長、医療安全管理室 長尾能雅 室長、
南山大学大学院法務研究科 教授 加藤良夫 弁護士

演 題：「安全な医療を求めて—医療事故をめぐる諸問題へのアプローチ—」

参加者：378名（医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他）

(医療事故防止に関する講演会)

日 時：平成19年3月12日(月)

講演者：本院看護部 嶋森好子 部長

演 題：「医療安全のために私達は何をしなければならないか」

参加者：309名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

●医師対象

(医療事故防止に関する研修会) *医員(研修医)オリエンテーション

日 時：平成18年4月3日(月)

講 師：本院安全管理室 長尾能雅 室長

参加者：106名(医員、研修医)

●看護師対象

(安全管理に関する研修会) 輸液管理研修

日 時：平成18年8月30日(水)

講 師：本院安全管理室 雛田知子 師長

テーマ：「輸液療法のリスクマネージメント」

参加者：24名(看護師)

(安全管理に関する研修会) 新卒看護師フォローアップ研修

日 時：平成18年10月13日(金)

講 師：本院安全管理室 雛田知子 師長

テーマ：「インシデントレポートの活用方法」

参加者：81名(看護師)

(安全管理に関する研修会) プリセプター看護師研修

日 時：平成18年10月20日(金)

講 師：本院安全管理室 雛田知子 師長

テーマ：「リスクマネージメントに関する基本的知識」

参加者：40名(看護師)

(安全管理に関する研修会)

日 時：平成18年12月5日(火)、19(火)

講 師：本院安全管理室 雛田知子 師長

テーマ：「看護助手さんにお伝えしたい医療安全について」

参加者：53名(看護補助者)

(安全管理に関するリスクマネージャー研修会)

日 時：平成18年12月6日(水)

講 師：本院安全管理室 雛田知子 師長

テーマ：「院内転倒転落事故防止委員会からの報告」

参加者：28名(看護師リスクマネージャー)

(安全管理に関する研修会) 中途採用者研修

日 時：平成18年12月15日(金)

講 師：本院安全管理室 雛田知子 師長

テーマ：「京大病院での安全管理」

参加者：24名(看護師)

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無)
- ・ その他の改善のための主な方策の内容：
 1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業
 2. 安全に関する部門連携・委員会活動
 - ・ 医療安全管理委員会の定期開催
 - ・ リスクマネージャー会議の定期開催
 - ・ 薬剤関連インシデント検討会の定期開催
 - ・ 安全管理室への研修医ローテーションの定期開催
 - ・ 各診療科 RM とのインシデント検討会の定期開催
 - ・ 院内転倒転落事故防止委員会の定期開催
 3. 職員への安全教育
 - ・ 講演会・講習会・ビデオ上映・院内事例報告会
 - ・ インシデントニュースの配信